



Camera Report

カメラリポート



お花見昼食会 雪窓保育園 4月27日 (雪窓公園)



友だちと、親子で、孫と一緒に... 楽しかったネ
第21回 御代田町民ふれあい広場 5月14日 (龍神の杜公園)



土屋 晶子さん(草越在住・1980年生まれ)

3年間保健師として勤務後、退職。青年海外協力隊へ参加

私は小さい頃から漠然と「外国に行ってみよう」と感じていました。青年海外協力隊への参加を決意した直接のきっかけは大学時代のアジア一人旅です。
タイ、インド、ネパールなどの途上国を旅する中で、多くの人々に出会い、笑顔に触れてきました。彼らの力強く生きる様子、キラキラした笑顔と出会い、貧しいから「かわいそう」という気持ちが少しでもあつたことを恥ずかしく思いました。しかしその笑顔とは裏腹に、貧しく厳しい生活を目の当たりにしてきたのも事実です。その経験から、ただ通り過ぎるだけではなく、腰を据えて彼らとともに生活したい、そして自分の技術を生かして少しでも笑顔を増やしていきたいなと感じたのがきっかけです。

現在、青年海外協力隊候補生として駒ヶ根市にある「青年海外協力隊訓練所」で訓練を受けている、土屋晶子です。「青年海外協力隊って何?」「訓練って何をしているの?」そんな紹介をします。
青年海外協力隊とは、開発途上国で現地の人々と生活をともにしボランティアという立場で、それぞれの技術を活かして国づくり・人づくりに貢献する活動です。住民と同じものを食べ、同じ言葉で語り、その土地の文化・慣習を尊重しながら活動していきます。
私も無事に訓練を終了すれば6月末から2年間、中米のホンジュラスに保健師として派遣され、妊産婦や子どもの健診、予防接種などを実施する予定です。訓練所では、全国津々浦々から集まった訓練生221人と生活しています。年齢は21歳~39歳、職種も幅広く、教育文化・保健衛生・農林水産・土木建築・スポーツ各分野計48職種。珍しい職種だと、考

ただ今派遣に向けて訓練中！ 膨大な宿題と復習も平気です

古学・竹細工・陶磁器・植林隊員など。普段の生活では出会えない人々との生活は新鮮そのものです。
一日の訓練の流れは、朝6時半から各国国旗掲揚、ラジオ体操、ジョギング、そして語学授業、開発途上国についての講義(ODA、開発、技術、環境問題等)、保育園や農家、老人ホームでの活動があります。空いた時間には、友達とスポーツや音楽などを楽しんでいます。
先ほど「同じ言葉で語り」と書きましたが、語学訓練に費やされる時間が一番多く、私もホンジュラスで話されているスペイン語を勉強中です。70日間で中学校3年間の英語の授業とほぼ同じ時間の授業を受けます。一日5時間、すべてスペイン語で行われる授業にもようやく慣れてきましたが、毎晩膨大な宿題と復習に追い詰められています。
無事に訓練を終了し、ホンジュラスへ旅立てるよう、がんばります。

志望動機...

それは、ただ通り過ぎる

傍観者でいたくなかったから

青年海外協力隊【国際協力事業団 JICA】



訓練所の講師・クラスメイトと
前列右から2番目が土屋晶子さんです